



しまね**脱炭素** チャレンジ集

～学生編 3～

はじめに

わが国では、地球温暖化対策計画を改定し、2030年度までに温室効果ガス排出を2013年度比で46%削減する目標の達成を目指しています。島根県は、島根県環境総合計画で「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」を長期的な目標に掲げ取組を進めています。

こうした中、これから地域が脱炭素社会に向かうための手がかりとして、次世代を担う県内の児童・生徒・学生が取り組む地域活動を掘り起こし、島根県地球温暖化防止活動推進員（以下、「推進員」という。）が中心に取材し「脱炭素チャレンジ集」として取りまとめました。また、本年度は、本事例集で取りあげた各事

例を相互に深く知り、交流の環を広げ、互いの活動を応援するために、児童等が取組事例を発表する発表・交流会を開催するといった、新たな展開を模索しました。

環境省は、第5次環境基本計画において「地域版SDGs」とも言われている地域循環共生圏という考え方を提唱しました。このチャレンジ集では、これらSDGsの実現に向けた取り組みとしても紹介しております。この事例集をきっかけに、地球を守る地域活動に興味・関心を持っていただき、地域における脱炭素取組の芽を育むことができれば幸いです。

目次

- 2 はじめに
- 4 SDGs 解説
- 5 島根県地球温暖化防止活動推進員とは
- 6 事例 01 八代川たんけんたい
奥出雲町立布勢小学校
- 7 事例 02 木育 SDGs 環境教育プログラム
安来市立安田小学校
- 8 事例 03 神西湖の環境保全活動を中心に
出雲市立神西小学校
- 9 事例 04 野生動物が悪いんじゃない！美郷町の挑戦に、
邑智小 4 年も学ぶ
美郷町立邑智小学校
- 10 事例 05 石州和紙 唯一無二の卒業証書
浜田市立岡見小学校
- 11 事例 06 植林活動は昭和から続く地域の歴史
松江市立八雲中学校
- 12 事例 07 脱炭素社会に向け、継続される「めっちゃボラ」活動
出雲市立多伎中学校
- 13 事例 08 サクラマスプロジェクトは SDGs そのもの！
吉賀町立柿木中学校
- 14 事例 09 地元の水産資源を地域の魅力に～地産地消と持続可能性～
島根県立浜田水産高等学校
- 15 事例 10 海岸活動は地域をつなぐ、楽しみの啓発
しまね LINK
- 16 脱炭素取組事例発表・交流会
～環境について 私たちの活動を紹介しよう！～
- 18 おうちのエコライフを応援する「エコサポしまね」とは？
- 19 記者紹介

SDGs 解説



あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ



飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る



すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する



すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する



強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る



国内および国家間の格差を是正する



都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする



持続可能な消費と生産のパターンを確保する



気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する



陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る



持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する



持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

SDGs とは？

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略。持続可能な社会をつくるために、世界が抱える問題を 17 の目標と 169 のターゲットに整理したもの（2015 年 9 月に国連で採択）。2030 年までに、政府、企業、地域社会のあらゆる人が、SDGs を実現するための役割を担っている。

“持続可能な開発目標” 国連開発計画（UNDP）駐日代表事務所。
<https://www.jp.undp.org/content/tokyo/ja/home/sustainable-development-goals.html>（参照 2019-09-10）

島根県地球温暖化防止活動推進員 とは

島根県地球温暖化防止活動推進員（以下、推進員という。）は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」（以下、温対法という。）第37条の規定に基づき、島根県知事が委嘱をした方です。推進員は、自ら率先して日常生活における地球温暖化防止対策を実践するとともに、地域における温暖化対策を推進するリーダーとして、県、市町村、島根県地球温暖化防止活動推進センター（以下「センター」という。）などと連携し、地球温暖化防止の重要性を県民に伝え、地球温暖化防止につながるきめ細やかな対策の普及・啓発につとめることで、県民の中に地球温暖化防止の意識や取り組みを浸透させる役割を担います。



（地球温暖化防止活動推進員の活動例）

- （1）地球温暖化の現状及び地球温暖化対策の重要性について県民の理解を深めること。
- （2）県民に対し、その求めに応じ日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等のための措置について調査を行い、当該調査に基づく指導及び助言をすること。
- （3）地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う県民に対し、当該活動に関する情報の提供その他の協力をすること。
- （4）温室効果ガスの排出の抑制等のために国又は関係機関が行う施策に必要な協力をすること。



事例
NO. 01

八代川たんけんたい

奥出雲町立布勢小学校

活動テーマ
SDGsゴール



活動
内容

八代川は校舎とグラウンドの間に流れており、児童は公民館の協力を得て、オオサンショウウオの観察会を行っています。3年生のときにオオサンショウウオを中心とした八代川の生き物について学習した4年生は、今年、八代川的环境学習に取り組みました。八代川の水質調査やごみ拾い、下流に当たる斐伊川や宍道湖での水質や漂流物などの調査を体験し、学習発表会では学んだことを「八代川たんけんたい～きれいな川を守りたい!～」という劇にして全校児童や保護者に向けて発表しました。きれいに見える八代川にもごみがあることや、川の水が私たちの生活に欠かせない水道の水になることなど、川や水を大切にしたいという思いを伝えました。



学習発表会の様子

活動団体 DATA

活動団体名：奥出雲町立布勢小学校

住所：島根県仁多郡奥出雲町八代 220 番地 電話：0854-54-9020
布勢小おちゃんブログ：<https://blog.goo.ne.jp/fusesho>



オオサンショウウオ観察会の様子

✓check
活動
ポイント

年に何度も行った八代川での水質調査では、CODのパックテストや水生生物の調査から、水質はきれいだということが分かりました。けれど金属や陶器などのゴミが多いことに気がきました。ゴミを川に捨てないで、オオサンショウウオの住みやすい川を守りたいと感じています。
(文責 藤原薫代)



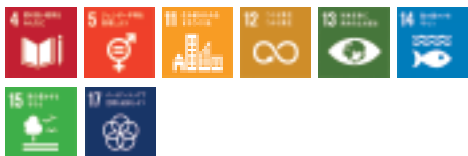
八代川のごみ拾い

事例
NO. 02

木育 SDGs 環境教育プログラム

安来市立安田小学校

活動テーマ
SDGsゴール



活動
内容

小学4年生の総合科授業・環境学習として、Ton-ton が提案する教育プログラムに取り組みました。このプログラムは、「木育」というワクワクする要素を盛り込み、「地球環境」というテーマにより興味関心を持てるよう工夫されています。自然環境や資源・森林・環境問題といったテーマが示され、児童自ら探求し、まとめあげ発表しました。児童は、自分たちに今何ができるのか、地球のためにどう行動をしていくのか具体的に気づくことで、行動に移せるようになり、意識から変えていくプログラムです。さらに、ここに SDGs を紐付け、「持続可能な世界」をより具体的に捉えるよう考えました。

活動団体 DATA

活動団体名：安来市立安田小学校

住所：島根県安来市伯太町安田 1213-1 電話：0854-37-0058

URL：<https://www.city.yasugi.shimane.jp/gakkou/yasuda-es/>

活動団体名：Ton-ton 〈紹介〉

住所：島根県安来市伯太町井尻 2042 電話：0854-26-4599

URL：<http://ton-ton.work>



各テーマを絞り探求・まとめ上げ

安来市産材積み木で遊ぶ



✓check
活動
ポイント

木育という遊び要素から森林に着目させます。普段見る森を肌で感じられるよう地産積み木でまず遊び、興味関心を持たせました。もしこの森が無くなった？という地球環境の現状も示し、ワクワクとドキドキを共有します。また安来市のたたら製鉄の歴史にも触れ製鉄産業に関わる先人が行ってきたSDGsも紹介し歴史文化にも注目しました。

(文責 大谷俊行)

総合発表



事例
NO. 03

神西湖の環境保全活動を中心に

出雲市立神西小学校

活動テーマ
SDGsゴール



活動
内容

「神西湖の保全活動」を積極的に行っている神西小学校の4年生、4名の児童と環境活動について話し合いました。神西小の4年生は毎年夏に船に乗り、神西湖の調査をしています。神西湖は、魚種が豊富で、特にヤマトシジミは単位面積あたりでは全国一の量を誇っています。またシジミの美味しさも宍道湖に並び日本一だと言っていました。しかし、この神西湖のシジミが地元大型スーパーでは売っていないことを児童達は残念がっていました。地産地消を心がけてほしいとアピールしていました。その他、神西湖清掃に努めたいこと、地球温暖化防止のため二酸化炭素を吸収する草花、木を植える活動。さらに、学校で行っている3R活動を地域に広げたいと元気に語っていました。

とても大きな神西湖のシジミ！



活動団体 DATA

活動団体名：出雲市立神西小学校 4年生

住所：島根県出雲市神西沖町 1090 電話：0853-43-1424

URL：<https://www.izumo.ed.jp/jinzai-sho/>



ヤマトシジミ漁の見学

✓check
活動
ポイント

神西湖に直接触れ、そこで漁師からお話を聞いた児童は、恵まれた自然環境であること、限られた資源を大切に利用していること、ゴミや水の汚れで数が減っていることなどを肌で感じました。神西湖の環境を守る地球にやさしい活動を、湖を囲む地域の人々に呼びかけ広げること、これからの脱炭素活動にもつながります。
(文責 渡部学)



神西湖のシジミ汁の試食

事例
NO. 04

野生動物が悪いんじゃない！美郷町の挑戦に、邑智小4年も学ぶ

美郷町立邑智小学校

活動テーマ
SDGsゴール



活動
内容

邑智小の児童は、地域の方々や、鳥獣害研究第一人者の井上氏（通称・マサねえ）から、授業を受け「なぜ、野生動物が畑に出てくるのか」の問いに、「畑に行けば野生動物は安心して食べられる。人間が知らず知らずにつけをしている。そこで、竹を敷き詰めた竹農法でサツマイモを植えることで、野生動物と共存できる」と、教えてもらいました。それまで野生動物は美味しい物を知っていることや、学ぶ前は野生動物は悪者だと思っていたのですが、学んだ後は人間のエゴであることに、児童は気が付いたようでした。

イノシシやサルの獣害対策に取り組み、イノシシを特産品の山くじらに活用するなど、美郷町では、共に生きることを目指し、命あるものに感謝し、地域資源として活用しています。



イノシシ対策用の竹

活動団体 DATA

活動団体名：美郷町立邑智小学校

住所：島根県邑智郡美郷町粕淵 93 番地 電話：0855-75-0021

URL：https://www.town.misato.shimane.jp/school/ohchi_e/index.html



夏冬のイノシシ肉を見てみよう！

✓check

活動
ポイント

「冬のイノシシ肉は脂がのり、夏場はあっさりしているんだよ」「近所にサルが 20 匹はいるよ」と教えてくれた皆さん。その平然とした言葉から、いろいろな体験学習や命を頂く授業を経て、生きる力が備わっていると気付きました。野生動物の生息環境を守りながら境界線を設け共生しながら、みんなは生き生きと生活しています。（文責 石原孝子）

イノシシについて話を聞く



事例

NO.

05

石州和紙 唯一無二の卒業証書

浜田市立岡見小学校

活動テーマ
SDGsゴール



活動
内容

12月8日、校庭の一角にある畑で、芽かきや草取りをしながら育てた楮（コウゾ）を、酒井清美さん指導の元、刈り取りました。113キロの楮（コウゾ）を1メートルの長さに切り揃えて束ね、16日に和紙会館で蒸した後皮をはぎ、これをそぞり、来年1月13日、いよいよハレの日のための証書を漉します。この作業は5年生（6名）、6年生（3名）が行いますが、証書を漉く6年生は、昨年よりも大切に扱いたいという思いが強くなったそうです。石州和紙は、書道半紙や神楽面・蛇胴など、三隅の子どもたちには馴染みのものですが、手すき和紙の一連の作業が、伝統技術を学ぶ実体験として役立っていると思われます。この事業は、楮（コウゾ）の栽培からそぞりまでに三隅支所が、紙漉きに石州和紙協同組合が、教育事業の一環として携わっています。



5・6年生が協力し刈り取った楮の皮はぎ



地域講師に手ほどきを受けていねいに楮刈り取り

活動団体 DATA

活動団体名：浜田市立岡見小学校

住所：島根県浜田市三隅町岡見 4743 電話：0855-32-0403

URL：<https://www.city.hamada.shimane.jp/www/toppage/1100000000030/APM03000.html>

活動団体名：石州和紙協同組合

住所：島根県浜田市三隅町古市場 83-3 電話：0855-32-1166

URL：<https://sekishu.jp/>

活動団体名：浜田市三隅支所防災自治課

住所：島根県浜田市三隅町三隅 1434 電話：0855-32-2801

check

活動
ポイント

石州和紙の原料である楮は、以前は栽培するという考え方はなく、土留めや農作物の夏の日よけのため畑などに植えられ、年末の臨時収入にもなったそうです。和紙の原料となる楮やトロアオイは、現在では栽培が進み、かなりの量の現地調達が可能です。子供たちが栽培している楮も、地産地消の観点から脱炭素社会作りにひと役かっています。
(文責 大橋美津子)



卒業証書漉き

事例
NO. 06

植林活動は昭和から続く地域の歴史

松江市立八雲中学校

活動テーマ
SDGsゴール



活動
内容

「想像してごらん。この山に桜が満開に咲き誇った姿を」、「想像してごらん。この山に栗の実が沢山実った姿を」、「大人になり、我が子とここに立った時に、この木は自分たちで植えたのだよ」をキーワードに、春には下草刈り、秋は植林の森林保全活動を継続的にしています。故郷の森を自分たちの手で植え育てることで、自然豊かな地元の良さを知り、地域への愛着、森の役割などを学んでいます。中学1年総合的な学習は、県の「水と緑の森づくり事業」を活用し、森林組合やNPO法人の支援を受けています。生徒の祖父父母の時代である昭和20年代以前から始まっている歴史ある活動で、卒業生所有の山など、八雲町の森の保全となっています。



地元木材の有効活用の紙漉き体験

活動団体 DATA

活動団体名: 松江市立八雲中学校

住所: 島根県松江市八雲町西岩坂 931 番地 電話: 0852-54-0014

URL: <http://www.city.matsue.ed.jp>



傾斜面での植林活動は大変です

✓ check
活動
ポイント

温暖化を抑えるには、①森林消失を止める②森林面積を増やす。③森林の炭素蓄積量を増やす。④効率の良い木材生産・木材利用です。「旧八雲中学校の

木造校舎もこの森林活動で育った木材が使われたかもしれない」との古老の話から、中学生のこの継続事業が地域の山の巡回保全の重要な役割になっていることがわかります。(文責 石原孝子)

鎌を手にした山の保全は下草刈りから



事例
NO. 07

脱炭素社会に向け、継続される「めっちゃボラ」活動

出雲市立多伎中学校

活動テーマ
SDGsゴール



活動
内容

緑豊かな自然と変化に富んだ海岸美を守るため、生徒会を中心に企画し、「めっちゃボラ」活動が実施されました。「めっちゃボラ」には、全校生徒がたくさんのボランティアをしようという生徒会の意図が込められています。

シーサイド公園のゴミ収集活動、キララビーチや地域周辺の清掃などを行い、多くのゴミを集めました。活動時に地元の小学生に声をかけ、自己紹介や役割分担をしながら交流を深めています。参加した生徒は、このような活動を継続して行うことで、住みよい町づくりができれば、また、綺麗になった海岸、ビーチに多くの人々に来ていただき、楽しんでいただきたいと願っており、清掃活動は、きれいな海岸・ビーチ、海を取り戻すために必要なことだと考えています。

今後、生徒は地域の方と交流、協力をしてボランティア活動したいと考えています。コロナウイルス感染拡大で活動は難しい中「工夫をして少しでも地域に貢献できるような活動をしていきたい」と望んでいます。



キララビーチのゴミ収集活動

活動団体 DATA

活動団体名：出雲市立多伎中学校

住所：島根県出雲市多伎町多岐 785 電話：0853-86-2026

URL：<https://tkc-school@izumo.ed.jp>



シーサイド公園の海岸清掃、沢山のゴミを集めることができた

✓ check
活動
ポイント

「継続は力なり」という言葉がありますが、海岸清掃だけでなく、河川の清掃、家庭でのゴミの分別、利用出来るものは、再利用するなど家庭で出来ることに取り組むことも必要です。生徒会のモットーは全校生徒数は少ないが、一人ひとりが実行することにより、その力を結集すれば大きな力となり、どこの学校にも負けていません。その力を地域周辺の森林や河川、海をまもることに力を入れて活動していただきたいと思います。学校だけでなく、地域住民（保護者）の方たちをまきこんだ活動をすることにより地球温暖化防止、脱炭素社会づくりに繋がってゆくと思っています。（文責 高橋充男）

「海岸清掃」活動についての検討



事例
NO. 08

サクラマスプロジェクトはSDGs そのもの！

吉賀町立柿木中学校

活動テーマ
SDGsゴール



活動
内容

吉賀町の「サクラマスプロジェクト」は人づくりであり、持続可能なまちづくりに向けた戦略、「一度は海に出て大きくなって帰っておいで」という願いが込められています。柿木中学校は、有機農業をはじめ地域での体験を通した教育に力を入れていて、1年生の生徒の一人は、校内の「とびのこ農園」で作った野菜を近くの道の駅に卸していると、誇らしげに話してくれました。体育の授業で河川水泳に取り組んだり、小水力発電の現場見学やプレーパーク（地域の遊び場）の未来を大人と一緒に考えるなど、生徒たちが安心して地域の方たちとの活動を楽しんでいることが伝わってきました。豊かな自然を守り有機農業や自伐型林業のあり方を考えていくことが持続可能な柿木のポテンシャルを活かした姿であり、脱炭素に貢献しています。

笑顔で会話しながら有機農場見学



活動団体 DATA

活動団体名：吉賀町立柿木中学校

住所：島根県鹿足郡吉賀町柿木 682-1 電話：0856-79-2027

URL：<https://sites.google.com/school.town-yoshika.ed.jp/kakichu>



学校近くの清流高津川で水泳授業

✓check
活動
ポイント

学校として既にSDGsの様々な活動をされています。これからは脱炭素の視点でもとらえていただきたいです。山や川などの恵まれた自然環境を持続する

ためには脱炭素の実現が必須です。子供たちを温かい目で見守り育てる地域の人材を活かし、脱炭素を意識した活動も進めながらの人づくり、まちづくりに期待しています。（文責 上瀧口琴代）

体験と意見を聴いて未来を考える



事例

NO. 09

地元の水産資源を地域の魅力に～地産地消と持続可能性～

島根県立浜田水産高等学校

活動テーマ
SDGsゴール



活動
内容

浜田市の水産ブランドであるノドグロを市内の学校給食に提供する事業に、食品流通科の生徒がノドグロの下処理として関わりました。丸ごと1尾を提供するために、丁寧にウロコを取って腹を割り内臓を取り出した後、洗浄と真空冷凍したものが給食センターに届けられました。「ノドグロの身が柔らかく下処理は大変だったが、小中学校の児童生徒に美味しく食べてほしい」という思いが込められています。また、提供された小学校からお礼の手紙が携わった生徒に届けられました。例年行われる水高祭など、魚の魅力を発信し、また自分たちの活動を知ってもらう場がコロナ禍で中止を余儀なくされる中、本事業は水産高校の生徒にとっても貴重な交流体験、地域貢献の場となりました。



販売に向け缶詰のラベル貼りの様子



学校給食に提供するノドグロを下処理

✓ check
活動
ポイント

本事業は、地域（地元の魚を知ってほしい）×浜田水産高校（下処理で地域貢献につながる）×市内小中学校（地元愛着を育む）が一体となったものです。地産地消をすることで、無駄な輸送が抑えられ CO₂ 排出量が削減できるとともに、浜田の豊かな水産資源とそれを守る必要性が期待できるだろう、日々の学びをきっかけに、地元企業と共同で商品開発されるなど、在学中に地域との関わりをもっています。卒業後、地元就職した生徒が、水産高校と地域との架け橋になると期待できます。（文責 渡辺紀美枝）



校内販売の様子

活動団体 DATA

活動団体名：島根県立浜田水産高等学校 食品流通科 3 年生

住所：島根県浜田市瀬戸ヶ島町 25-3 電話：0855-22-3098

URL：<http://www.shimanet.ed.jp/hamasui/>

海岸活動は地域をつなぐ、楽しみの啓発

しまね LINK

活動テーマ
SDGsゴール



活動
内容

島根大学生と地域おこし協力隊で編成し 2020 年 4 月に設立。小中学生から多世代と交流しながら楽しく、海岸清掃を年間 30 回開催しています。地元小学校で行う「出前講座 SDGs と環境保全」では、自分の生活と関連のある SDGs カードで、脱炭素について理解する教育を展開。「海洋ごみを用いたアート制作」は「これが海洋ごみ？」と思うような作品で、海洋ごみを丁寧に洗い、参加者の想像力を活かした作品です。廃校を有効活用したイベントは、地域の暮らしを知り、自然に恵まれた地域の良さに気づき愛着を持てるよう説いています。学び得たことの啓発発表もあり、保護者を巻き込み活動の輪が広がり、将来を担う子どもたちの想像力を育てるため、今後も多彩なイベントを考えて活動をしています。



海ごみアート

活動団体 DATA

活動団体名：しまね LINK

住所：島根県松江市東津田町 765-3(井上) 電話：080-3379-0989(井上)
Facebook：「しまね link」<https://www.facebook.com/%E3%81%97%E3%81%BE%E3%81%ADLINK-106662844793439/>
Instagram：「33_shimanelink_77」https://www.instagram.com/33_shimanelink_77/?hl=ja



海岸清掃の様子

check
活動
ポイント

「SDGs をたくさんの人に知ってもらいたい!」という熱い思い。海辺の景観に感動し「活動の場は廃校を有効利用しよう!」というアイデア。楽しさ

をみんなと共有した本格的な「アート!」も。都会や海外から集まったメンバーは、「人々が自然と共に生きる豊かな暮らしの実現」という未来への目標が輝きます。
(文責 長野澄子)

講座の様子



脱炭素取組事例発表・交流会 ～環境について 私たちの活動を紹介しよう！～

今年度は新たな試みとしてこれから脱炭素社会を担う世代が、取組事例を発表し、互いに交流を深める機会として発表・交流会を予定しました。推進員が企画グループを立ち上げ、準備を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染拡大にともない、やむなく中止にいたしました。開催に向けて多くの方々にご支援・ご協力を賜りありがとうございました。

<概要>

1. 期日及び会場 令和4年1月29日(土)
出雲市多伎コミュニティーセンター
2. コメンテーター
出雲市長 飯塚 俊之氏
NPO 法人気候ネットワーク 理事兼事務局長
田浦 健朗氏
3. 内 容 しまね脱炭素チャレンジ集
～学生編3～で紹介した各事例の発表と交流

出席を予定していた田浦健朗様から頂いた、地域の脱炭素取組を応援するメッセージを紹介します。

NPO 法人 気候ネットワーク
理事 兼 事務局長
田浦 健朗



環境保全や持続可能な地域づくりに向けて取り組まれている島根のみなさまの活動事例を拝見して大変嬉しく思います。みなさまが、協力しながら工夫を重ねながら地域のために活動されていることがよくわかります。

近年、気候の危機がますます深刻化し、世界で異常な高温や熱波、集中豪雨と洪水、干ばつと山火事、珊瑚礁の白化や氷河の融解などが起こっています。工業化前と比べると、既に地表付近の平均気温は1.1℃程度上昇しています。このままで対策が進まないと、2100年ごろまでに平均気温が4℃以上上昇してしまうと警告されています。

この気候の危機に立ち向かうために、世界は「パリ協

定」という約束をつくり、工業化前と比べて気温の上昇を1.5℃に抑えることをめざしています。その目標の達成手段は「脱炭素」です。二酸化炭素（CO₂）を排出しないでも、みんなが安心して豊かに生活することができる脱炭素社会を実現していくような転換が多くの国や地域で進んでいます。

島根県も「2050年温室効果ガス実質排出ゼロ」を表明されていますので、その主役はみなさま方だと考えています。地球環境をまもるというグローバルな視点・考えを持ちながら、持続可能な地域づくりから展開して脱炭素を実現していく、担い手となっていただきたいと思っています。

脱炭素社会というのは、想像しづらいかもしれませんが。しかし、世界の流れは脱炭素に向かっていますので、社会の仕組みやルールも変わっていくはずです。みなさまの活動がその変化に合わさることで、脱炭素が引き寄せられてくるでしょう。身近な問題を解決しながら地域の魅力を上げていくようなみなさまの活動が、継続され広

まっていくことで島根全体が、脱炭素に変わっていくことにつながります。

気候ネットワークは、小冊子「気候アクションガイド」※を発行しました。気候変動に取り組むときに必要な考え方、科学の基礎知識と活動の参考事例を記載しています。みなさまの活動を継続する中で、参考にいただければありがたく思います。

気候の危機への対応を誤ってしまうと、取り返しのつかない地球環境になってしまいます。そうならないための適切な選択、地域での継続的な活動、仲間や取り組みの成果を広めていくことが脱炭素につながります。みなさまの活動から、「いつまでも住み続けたい素敵な脱炭素の島根」になることを期待しています。

「NPO 法人 気候ネットワーク」
ホームページ



※ PDF (2.8MB)
「気候アクションガイド」



おうちのエコライフを応援する「エコサポしまね」とは？

○家庭からの CO₂ 削減に取り組んでいます ○環境保全を目的とした活動を支援しています

< 地球温暖化対策 >

県民の皆様にも広く地球温暖化について知っていただく機会を提供するとともに、地球温暖化防止活動に取り組む団体や個人を積極的に支援します。

- (1) 節電、エコドライブ、レジ袋削減など家庭での省エネ行動の啓発、促進支援
- (2) 幼稚園・保育園、小学校での環境学習
幼稚園・保育園で「ミニエコ講座」を行ったり、小学4年生の「省エネチャレンジシート」の支援をしています。
- (3) しまねエコライフサポーターとの連携強化
- (4) しまねエコライフ推進会議 生活部会の運営

< 環境保全活動支援 >

県内でさまざまな環境保全活動に取り組む団体を支援するため、活動助成金の交付や地域づくりに繋がる団体の縁結びをしています。

- (1) しまね環境保全活動助成金
- (2) しまエコユースサポーターズ制度の運営

< 情報発信や資機材の提供 >

- (1) 教材等の貸出支援
- (2) 普及啓発パンフレットの作成
- (3) コラム・映像の作成

しまねを思いきり楽しみながら、未来へ資源や縁を繋ぐひとをコラムや5分番組でご紹介。

また、地球温暖化を分かり易くアニメで紹介しています。

- (4) ホームページ、SNS などでの情報提供



エコサポしまねの
Facebook と Twitter
はじめました！

エコサポしまね 検索



エコの
タネまきを
応援します！

記者紹介

「しまね脱炭素チャレンジ集 ～学生編 3～」作成のため ご協力いただいた方々

五十音順／敬称略

○印は企画グループ

島根県地球温暖化防止活動推進員

○石原 孝子

大谷 俊行

大橋美津子

上潟口琴代

高橋 充男

長野 澄子

○柳樂 利子

福岡 茂明

○藤原 薫代

安田 邦彦

山崎 真生

渡辺紀美枝

渡部 學

島根県 島根県教育委員会

しまね脱炭素チャレンジ集

～学生編 3～

発行日 令和4年1月30日

発行先 しまねエコライフサポートセンター
島根県地球温暖化防止活動推進センター
公益財団法人しまね自然と環境財団松江事務所
〒690-0887 島根県松江市殿町8-3
島根県市町村振興センター（タウンプラザ[®]しまね）2階
TEL 0852-67-3262 <https://nature-sanbe.jp/eco/>

二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金
（地域における地球温暖化防止活動促進事業）



この冊子はすべてユニバーサルデザインフォントを使用しています。